

資料配付の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成18年3月3日同時配布

平成18年3月3日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

東京臨海部におけるヒートアイランド現象の実測調査報告会
～効果的なヒートアイランド対策の実施に向けて～

国土交通省は、今後のヒートアイランド対策が効果的に実施できるように、その科学的裏付けとなるヒートアイランド現象のメカニズム解明や、様々な対策の効果を計るために、国土交通省総合技術開発プロジェクト「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発」を平成16年度から3年間にわたって実施しております。

この一環として、昨年7月から8月にかけて東京臨海部を中心に、これまで例のない大規模かつ詳細なヒートアイランド現象の実測調査をいたしました(別紙1)。このたび、その分析結果がまとまりましたので、報告会を開催します。

そのほか、世界最速レベルのスーパーコンピュータによるヒートアイランド現象の計算結果(別紙2)や、様々な対策効果の解明に向けた取り組みについても紹介します。

1. 開催日時：3月13日(月)14時から16時20分まで

2. 会場：霞ヶ関ビル 東京會館35階 シルバースタールーム
(東京都千代田区霞が関3-2-5)

3. 主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所

4. プログラム

趣旨説明(14時)

(国土技術政策総合研究所都市研究部長 坂 真哉)

実測調査にあたって(14時5分)

(早稲田大学理工学部建築学科教授 尾島 俊雄)

実測調査結果報告(14時10分)

(1) 実測調査の概要

(国土技術政策総合研究所主任研究官 鍵屋 浩司)

(2) 汐留・新橋周辺の調査結果

(首都大学東京大学院理学研究科教授 三上 岳彦)

- (3) 東京駅周辺の調査結果
- (4) 日本橋川周辺の調査結果
- (5) 品川駅周辺の調査結果
(早稲田大学理工学総合研究センター助手 増田 幸宏)
- (6) 目黒川・大崎周辺の調査結果
(日本工業大学工学部建築学科教授 成田 健一)

その他の取り組み紹介 (1 5 時 2 0 分)

- (1) スーパーコンピュータによるヒートアイランド現象のシミュレーション
(独立行政法人建築研究所上席研究員 足永 靖信)
- (2) ヒートアイランド対策の効果の定量化とその課題
(国土技術政策総合研究所主任研究官 鍵屋 浩司)

質疑応答 (1 5 時 3 5 分)

- (コメンテーター : 神戸大学工学部建築学科教授 森山 正和)
(同 : 名古屋工業大学社会開発工学科教授 堀越 哲美)

まとめ (1 6 時 1 5 分)

- (早稲田大学理工学部建築学科教授 尾島 俊雄)

5 . 参 加 費 : 無料

6 . 申し込み方法 (一般参加者)

定員は100名とします。申し込みは先着順とし、定員となり次第、締切とさせていただきます。定員を上回る申し込みがあり、参加頂けない場合のみ、事務局より連絡いたします。参加をご希望の方は、3月9日(木)までに住所・氏名・電話番号を明記の上、ファクスまたはEメールにて下記の報告会事務局宛にお申し込み下さい。

(事務局) 財団法人国土技術研究センター 研究第1部 高橋、功刀 (くぬぎ)
ファクス 03-4519-5014 (電話 03-4519-5004)
Eメール k1@jice.or.jp

7 . その他

報告会は公開します。なお、報告会で配付される資料は報告会開催後、下記ウェブサイトにおいて公開する予定です。

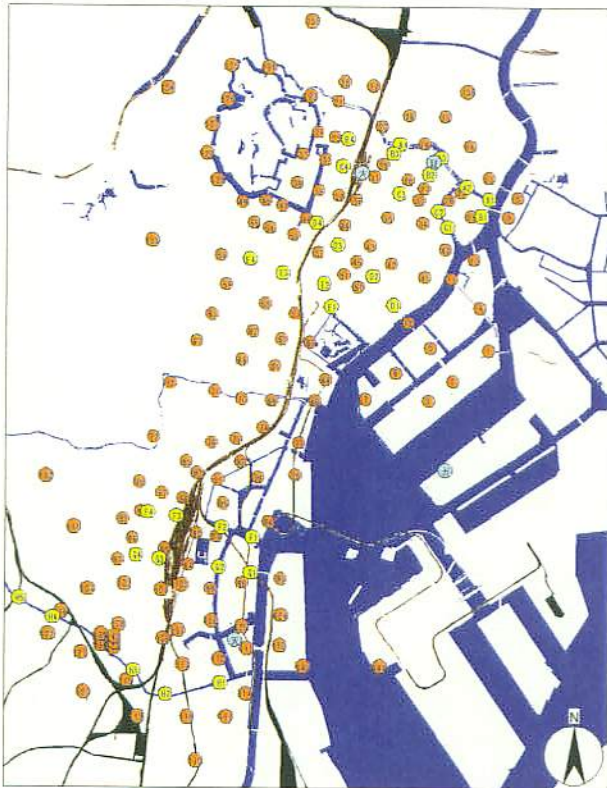
<http://www.nilim.go.jp/lab/jeg/heat.htm>

問い合わせ先 :

国土交通省国土技術政策総合研究所 都市研究部 主任研究官 鍵屋 浩司
電話 029-864-4065 (ダイヤルイン)

○東京臨海部におけるヒートアイランド現象の大規模実測調査

昨年7・8月に東京臨海部・都心部を中心に数百メートル間隔で気象観測を実施



● 気象観測装置
● 温度計, 温度計

0 500 1500 3000

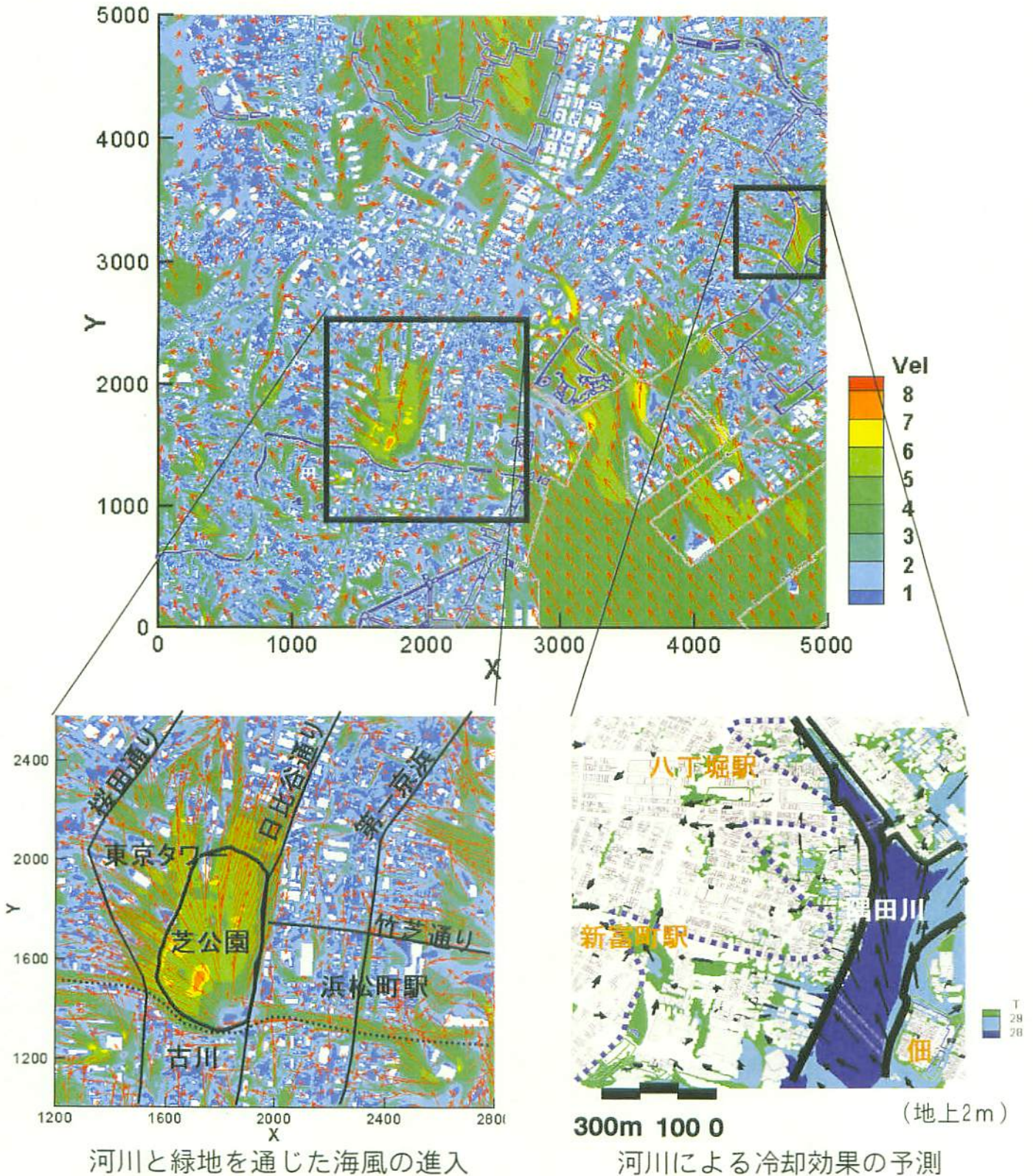
約190箇所に気象観測機器を設置



ヒートアイランド対策として重要な要素のひとつとして考えられる風の効果や影響について、現象解明と効果の定量化を行う

○世界最速レベルのスーパーコンピュータによる定量解析

「地球シミュレータ」による東京臨海・都心部(5km四方)の全建物配置を入力した
気温・風速分布の解析



河川と緑地を通じた海風の進入

河川による冷却効果の予測

緑化や省エネ、市街地形態の改善など様々な対策効果が予測できるようになる